



1月 ほけんだより

こども未来局
保育・子育て推進部

令和8年1月1日
菅保育園



あけましておめでとうございます。今年もよろしくおねがいいたします。年末年始は、子どもが飾り物やプレゼントに接する機会が多い時期です。小さな子どもは様々なものに興味を示しますが、口に入れると誤飲や窒息の危険があります。以下のポイントに注意して、楽しい時間を安全に過ごしましょう。

飾り物や玩具の誤飲に注意!



- 玩具の場合、子どもの年齢や発達にあっているかを確認して使いましょう。
また、日本玩具協会のSTマークも参考にしましょう。
- 年長のきょうだいの玩具の取扱いにも注意しましょう。
- もしもの時に備えて、応急手当の方法を確認しておきましょう。
こども家庭庁「こどもの事故防止ハンドブック」の「応急手当方法」
「異物を飲み込み喉に詰まってしまった時」や「誤飲対処早見表」
をご参照ください。

こども家庭庁
もしもの時の「応急手当方法」他
<https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety-actions/handbook/content-7/>

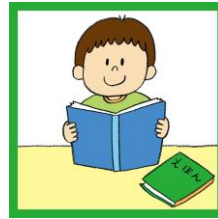
口に入る小さなもの、また
小さな部品がはずれて口
にはいる可能性がないか



こどもの年齢・発達に
合っているか



取扱説明書の注意事項を確認したか



破損や不具合がないか



＊園医健診：1/7（水）14：30～ 0歳児、1歳児クラス及び2～5歳児クラスの未受診者
今年度4月より健診を受けていない方、途中入園で健診を受けていない方は受けることができます。
担任より声かけさせていただきます。

大出先生の健康コラム

《母乳、ミルク、食物とアレルギー》

子どものアレルギーの発症予防として、妊娠中や授乳中のお母さんが食事制限をしたり、離乳食の開始を遅らせたりする必要はありません。すべての乳児のアトピー性皮膚炎に、食物が関与しているわけではありません。湿疹を安易に食物アレルギーと関連付けてしまうと不要な食物除去になり、お子さんや保護者に過度の負担をかけてしまうことになります。湿疹に対してはまずスキンケア、外用療法を行い、それでも症状が続く場合に外用療法の仕方や軟膏類の塗布を再検討します。それでもまだ改善しない場合に、食物アレルギーの関与を考え、検査を行います。

園医 大出 集



イラスト出典 メイト、熊アート